

平成23年度

学習指導計画(シラバス)

総合的な学習の時間

岩手県立盛岡第一高等学校

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	1年普通科(1単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
1「生きる力」の育成。 2 自ら主体的に問題を解決する能力を育てるとともに他者や社会のためにどういう生き方をすべきか考えることができるようになる。 3「生きた知」を身につけ、自己発信の力をさらに高める。		・地域教材(地域の人材)	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
【前期中間】 1 新入生ガイダンス1 2 新入生ガイダンス2 3 総合学習オリエンテーション 交通安全講話 4 薬物乱用・ハイテク犯罪防止教育 5 虫の話・命の大切さ 【前期末】 6 インタビュー事前学習1 7 インタビュー事前学習2 8 インタビュー活動 インタビューまとめ インタビュー白聖祭発表 9 防災教育・救急救命法 【後期中間】 10 性・命についての講演会 11 研修旅行自主研修計画 1 12 インタビュー学年発表会 13 研修旅行自主研修計画 2 【学年末】 14 研修旅行自主研修計画 3 15 研修旅行まとめ 16 キャリアアップ講演会 17 理数科課題研究発表会見学		・高校生活における学習・行事・部活動等を紹介し、一高へのスムーズな適応を促す。 ・パネルディスカッションを通して上級生との意見交換を行い、一高生としてのアイデンティティ確立の一助とする。 ・大震災に関連した心のケアを行う。 ・本校の総合学習のねらいを理解する。 ・交通安全について意識を高める。 ・薬物乱用・ハイテク犯罪の危険性を認識できる。 ・命の尊厳を十分に認識し、自分の日常の行動に反映させることができる。多様性を尊重する心を育てる。 ・各界の第1線で活躍されている方々の生の話に触れることによって、幅広い教養を養うとともに、自分の視野の狭さを認識できるようになる。 ・視野を広げるために、自分の足で積極的に生き方を学びに行くことができる。 ・防災・救急救命に対して意識を高め、基本的な対処方法を身につける。 ・不適応傾向の予防。健全な自己肯定力を持てるようになる。 ・グループの他のメンバーと協調して、インタビュー活動での学習内容をまとめ、プレゼンテーションできる。	
評価の観点		学習の方法	
・出席、授業への取り組み状況 ・提出物(課題レポート等)		・グループ学習・個人研究・発表・討論等に積極的に参加する。 ・体験的・問題解決的な学習活動であるので、広い視野と複眼的なものを見方を重視する。 ・教科・学校の枠を越えて横断的・総合的な学習を行う。 ・上記の活動を契機に社会問題について幅広い興味・関心を持つことが期待される。	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	2年普通科(1単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
<ul style="list-style-type: none"> ・「生きる力」の育成。 ・自ら主体的に問題を解決する能力を育てるとともに他者や社会のためにどういう生き方をすべきか考えることができるようになる。 ・「生きた知」を身につけ、自己発信の力をさらに高める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域教材(特別支援学校、老人福祉施設) ・過去のグループ報告書、 ・自己評価シート、相互評価シート、 	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
<p>【前期中間】</p> <p>1 総合学習交流オリエンテーション 進路研究1</p> <p>2 障害に関する講演会</p> <p>3 交流グループ編成</p> <p>4 進路研究1・2 オープンキャンパス参加</p> <p>【前期末】</p> <p>5 各校施設担当者ガイダンス 交流事業準備/交流記念品製作</p> <p>6 交流事業・まとめの活動</p> <p>7 白聖祭発表準備</p> <p>8 進路研究3</p> <p>【後期中間】</p> <p>9 進路講演会</p> <p>10 キャリアアップ講演会</p> <p>【学年末】</p> <p>11 進路研究4 「新書探訪」1 理数科課題研究発表会見学</p> <p>12 進路研究5 「新書探訪」2</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の総合学習の狙いを理解する。 ・特別支援教育の現状を理解し、「ノーマライゼーション」の考え方ができるようになる。 ・自分の進路目標の確立を促すために、学部・学科の特性を知る。 ・現場で実際の支援教育また介護に従事する方々のお話から実感を持てるようになる。また、グリーンディングカード等の製作活動により協調の精神を学ぶ。 ・各訪問施設での体験学習により、実際に特別支援学校生徒児童や高齢者とふれあい、将来、多方面でリーダーとして社会に貢献できるように、しっかりとした人間性や豊かな感性と思いやりの心を滋養する。 ・相互に理解し合い共生することの大切さを認識できようになる。 ・他者や社会のために自分がどのような生き方をすべきかを考えるきっかけとなる。 ・将来の目標を具体的に形成し、望ましい進路意識と明確な職業観を持てるようになる。 ・自分の進路に関係する新書を探して読むことにより知的好奇心を高めるとともに、グループ学習から新書に関する知識を共有することにより、探求心を高め小論文を考える契機となる。 	
評価の観点		学習の方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業への取り組み状況 ・提出物(感想レポート等) ・施設職員の方々及び引率教員による観察 		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習・個人研究・発表・討論等に積極的に参加する。 ・体験的・問題解決的な学習活動であるので、広い視野と複眼的なものの見方を重視する。 ・教科・学校の枠を越えて横断的・総合的な学習を行う。 ・上記の活動を契機に社会福祉について幅広い興味・関心を持つことが期待される。 	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間(課題研究)	2年理数科(1単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
<ul style="list-style-type: none"> ● 「生きる力」の育成。 ● 自ら主体的に問題を解決する能力を育てるとともに、未知の現象を研究するにはどのような姿勢を身につければよいかを考えることができるようになる。 ● 「生きた知」を身につけ、自己発信の力をさらに高める。 ● 科学研究に取り組む意味に対する理解を深め、豊かな感性と思いやりの心を育む。 		<ul style="list-style-type: none"> ● われわれの周囲の科学的事象 ● 過去の課題研究報告集 ● 研修先からの各種資料 	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
<p>【前期中間】まで</p> <p>1 課題研究ガイダンス 2 課題研究講座(講演会) 3 研究・実験活動</p> <p>【前期末】まで</p> <p>4 課題研究中間報告会 5 研究・実験活動 6 研究・実験活動 7 白堊祭発表準備 8 研究・実験活動</p> <p>【後期中間】</p> <p>9 県内施設見学研修 10 出張講義(普通科と共通) 11 研究・実験活動</p> <p>【学年末】</p> <p>12 校内理数科課題研究発表会</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 健全な自己肯定力を持てるようになる。 ● 課題研究の考え方を理解し、自らの研究対象について考えられる。 ● 実験・研究に取り組む上での姿勢について理解する。 ● 理系研究志望者として直面する入試動向を理解し、今後の学習に対する心構えを持つ。 ● 実験指導担当者の指導のもと、自ら行うべき準備・実験・データ処理・仮説の検証・失敗に対する考察を行い、次に生かせる教訓などを得ながら、研究者として誠実に取り組む姿勢を身につける。 ● 研究の途中において、グループ内で取り組み状況・方向性等を確認する機会をもち、適宜修正しながら望ましい研究活動を継続する。 ● 各訪問施設での体験学習により、実際に先端科学にふれ、将来リーダーとして社会に貢献できるように、確かな経験と知識に基づいた論理的思考力を身につける。 ● 身近なところで先端科学を活用している施設を見学することにより、社会とのつながりを認識する。 ● 社会に貢献するためには、自分がどのような将来展望を持つべきかを考えるきっかけとする。 ● 実験研究で得た結果を発表することにより、研究内容をまとめる能力を身につける。 ● 将来の目標を具体的に形成し、望ましい進路意識と明確な職業観を持てるようになる。 	
評価の観点		学習の方法	
<ul style="list-style-type: none"> ● 出席、実験研究への取り組み状況 ● 提出物(レポート等) ● 課題研究報告 ● 施設職員の方々及び引率教員による観察 		<ul style="list-style-type: none"> ● グループ学習・個人研究・発表・討論等に積極的に参加する。 ● インターネットや文献を活用して、広い視野と複眼的なものを見方を重視する。 ● 教科・学校の枠を越えて横断的・総合的に学習を行う。 ● 上記の活動をきっかけとして、科学的分野に幅広い興味・関心を持つことが期待される。 	

教科名	科目名	開講期(単位数)	必選別
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	3年普通科・理数科(1単位)	必修
到達目標(ねらい)		使用教科書・教材	
1 「生きる力」の育成。 2 自ら主体的に問題を解決する能力を滋養するとともに、他者や社会のためにどのような生き方をすべきか考えることができるようになる。 3 「生きた知」を身につけ、自己発信の力をさらに高める。 4 生徒の実態を把握し、適性・能力の伸長を目指し、適切な進路指導へ導くための効率的教育活動を進める。		・進路指導資料	
学習内容(学習時期)		学習到達目標(ねらい)	
【前期中間】 1 総合学習オリエンテーション 進路ガイダンス1 2 メンタルトレーニング講演会 3 進路ガイダンス2 【前期末】 4 専門分野研究 5 パネルディスカッション 6 キャリアアップ講演会 【後期中間】 7 進路ガイダンス3 8 進路ガイダンス4		・本年度の総合学習の狙いを理解する。 ・入試動向を理解し、受験生として今後の学習に対する心構えができる。 ・将来の目標を具体的に形成し、望ましい進路意識と明確な職業観を持てるようになる。 ・幅広い教養を身につけ、人間性を滋養する。 ・自分の進路目標実現に必要な情報を収集し、活用できる。	
評価の観点		学習の方法	
・出席、授業への取り組み状況 ・提出物(課題レポート等)		・グループ学習・個人研究・発表・討論等に積極的に参加する。 ・問題解決的な学習活動であるので、広い視野と複眼的なものを見方を重視する。 ・上記の活動を契機に社会全般について幅広い興味・関心を持つことが期待される。	